

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第2部門第1区分
 【発行日】平成31年4月25日(2019.4.25)

【公開番号】特開2017-192934(P2017-192934A)
 【公開日】平成29年10月26日(2017.10.26)
 【年通号数】公開・登録公報2017-041
 【出願番号】特願2017-75739(P2017-75739)
 【国際特許分類】

C 0 2 F 3/34 (2006.01)

G 0 1 N 27/26 (2006.01)

G 0 1 N 27/416 (2006.01)

【F I】

C 0 2 F 3/34 1 0 1 C

G 0 1 N 27/26 3 6 1 E

G 0 1 N 27/416 3 5 1 A

【手続補正書】
 【提出日】平成31年3月13日(2019.3.13)
 【手続補正1】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】0 0 1 6
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【0 0 1 6】

また本発明は、前記硝化槽を機能的に複数に分割し、分割した硝化槽前半部分で、測定したアンモニア濃度に応じて硝化槽前半部分への酸素含有気体供給量を制御すると共に、DO値が所定値以下になるように制御し、一方、分割した硝化槽後半部分で、DO値が前記所定値以上になるように制御して硝化槽前半部分に残留したNH₄-NをNO_x-Nに硝化することを特徴としている。これによって、放流水のNH₄-N+NO_x-N値を小さくでき、さらに良好な窒素除去を達成することができる。

【手続補正2】
 【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】請求項7
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【請求項7】

請求項6に記載の廃水処理方法において、
 前記硝化槽を機能的に複数に分割し、
 分割した硝化槽前半部分で、測定したアンモニア濃度に応じて硝化槽前半部分への酸素含有気体供給量を制御すると共に、DO値が所定値以下になるように制御し、
 一方、分割した硝化槽後半部分で、DO値が前記所定値以上になるように制御して硝化槽前半部分に残留したNH₄-NをNO_x-Nに硝化することを特徴とする廃水処理方法。